



京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センターE.FORUM

「『生きる』教育」プロジェクト

単元「たいせつなところと体—プライベートゾーンを学ぶ」の概要

「『生きる』教育」とは

「『生きる』教育」とは、子どもたちが直面する「人生の困難」を解決するために必要な知識を習得し、友だちと真剣に話し合うことで安全な価値観を育むことをめざす教育です。子どもたちにとって一番身近であり、心の傷に直結しやすいテーマをも授業の舞台にのせ、社会問題として捉えなおすとともに、授業の力で子どもたち相互にエンパワメントを生み出し、個のレジリエンスへつなげることをめざしています。

単元「たいせつなところと体—プライベートゾーンを学ぶ」について

単元「たいせつなところと体—プライベートゾーンを学ぶ」（小学校低学年対象）では、子どもたちの日々の当たり前から出発し、「安全」「安心」「清潔」とはどのような状態か、それらは保障されているのかを問い直します。本単元の学習をとおして子どもたちが「安全」「安心」「清潔」についての基準を理解したうえで、適切な心と体の距離感を学び、適切に判断・行動する力を身につけることを目指します。生活体験で身につけた各自の価値観をもとにしながらも、クラス内での対話を重ねる中で正しい対処法へ導く点、性に対する適切な距離感とそれが破られた場合に他者に助けを求める「受援力」を育成することを目指している点で、「『生きる』教育」の土台となる単元だと言えるでしょう。

※本サイトで紹介している教材・教具は、大阪市立田島南小学校の先生方（田中梓先生ほか）の実践に基づきつつ、様々な学校で実践しやすい普及版として作成しております。

※実践の詳しい進め方については、小野太恵子・木村幹彦・塩見貴志編著『「『生きる』教育」——自己肯定感を育み、自己と相手を大切に方法学ぶ』（日本標準、2022年）、及び今垣清彦・小野太恵子・別所美佐子・田中梓編『「『生きる』教育」全学習指導案集——「安心・安全・愛情」を保障する9年間の教育プログラム』（日本標準、2024年）もご参照ください。



「安全」「安心」「清潔」（第1時）

※本教材・教具は、京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センターE.FORUM が、SMBC 京大スタジオにおける共同事業「貧困・格差・虐待の連鎖を乗り越える教育アプローチの研究開発と普及」（通称：「『生きる』教育」プロジェクト）の一環として作成いたしました。作成は、下記の者が担当いたしました。

田野茜、飯塚喜久乃、多田理紗子、西岡加名恵

※本教材・教具に関するお問い合わせは下記までお願いします。

京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター E.FORUM

「『生きる』教育」プロジェクト事務局

E-mail e-forum.ikiru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp